

SS-Lecture 第3回研修

「野菜のバイオテクノロジー研修」

令和元年12月7日(土) カネコ種苗(株) [波志江研究所、くにさだ育種農場]

カネコ種苗(株)の波志江研究所とくにさだ育種農場に赴き、「野菜のバイオテクノロジー研修」を実施しました。カネコ種苗での研修は、今年で4年目となります。

はじめに波志江研究所を訪問し、茎頂培養によるウイルスフリーの野菜を作る方法や、サツマイモの品種である、「シルクスweet」の開発秘話などについてお話しいただきました。また、温室に移動して水耕栽培による野菜の管理方法について学びました。

次にくにさだ育種農場に移動し、まず、バイオテクノロジーを用いた品種改良のお話をいただきました。その後、2班に分かれて、野菜のDNA分析に用いる電気泳動の体験と、キャベツやネギなど様々野菜の様々な品種が栽培されている圃場で、収穫体験を行いました。

以下、参加した生徒の感想の抜粋です。

「品種改良について、今まで以上に興味を持つことができた。また、品種改良について新たな疑問も生まれた。スーパーにいったときなどに、野菜や果物の品種を意識して見てみたいと思う。」

「“農場”と聞くと、土・虫・草というイメージでしたが、真っ白で清潔な研究室を見て、大きくイメージが変わりました。私は理系に進むので、農業系の大学も視野に入れたと思うほど魅力的な分野でした。楽しかったです。」

「現代の農業は、様々な分野との関わりの上になりつつあるということを知ることができた。また、現代の科学技術はとてもはやく進歩しているため、そのような技術と農業がどのように関わっていくのが楽しみだと感じた。」

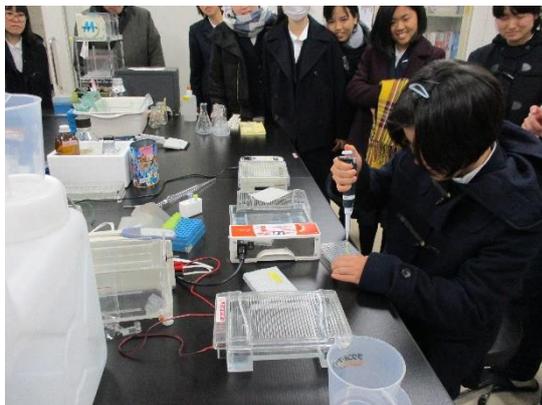
感想では、この研修を通して農業や農学のイメージが変わったという意見が多く、研修を通して生徒の視野の広がりを感じられました。



野菜の茎頂培養についての説明
～「シルクスweet」の試食をしながら～



葉物野菜の水耕栽培についての説明



DNAの電気泳動体験



野菜の収穫体験